

第26区 地域課題等に対する意見交換会にご参加いただきありがとうございました

先般、「個人情報の保護に対する市の対応」をテーマに開催した地域課題等に対する意見交換会にご参加いただき誠にありがとうございました。意見交換会でお聞きした主なご意見とその回答を次のとおりまとめましたので、ご覧ください。

日 時：平成29年11月20日（月） 午後7時～

場 所：池田町屋公民館 参加者：20人

【テーマ】池田地区をとりまく工事などの進捗状況について

1. 県病院（前畑地内）保育所を含む建設の件

（1）岐阜県立多治見病院からの説明

中央診療棟の老朽化や新しい医療機械の導入のため、新しく中央診療棟を整備する。また新中央診療棟の整備に併せて、保育所や立体駐車場の整備なども行っていく。

新中央診療棟の整備スケジュールは、平成32年度に着工、平成34年度に開院予定である。

（2）多治見市 道路河川課からの説明

県病院前交差点から土岐川堤防までの市道を拡幅する予定であり、工期は新中央棟整備と調整しながら遅くとも平成34年度から平成35年度までに完成の予定である。

●出席者からの質問

診療科や医師の数に関する計画はあるか。

回答（岐阜県立多治見病院）

診療科の数については、36科を予定している。また医師の数については未定だが、良い施設が整備されていない場合、大学病院からの医師の派遣が難しいという現状がある。このため、新中央診療棟の整備は医師確保対策の一環であるとも言える。

●出席者からの質問

新しく保育所を整備する場所（現在の県病院職員駐車場）の北側の市道から県道武並土岐多治見線に出る交差点を改良する予定はあるか。交差点が直角ではなく、通行しにくい。

回答（岐阜県立多治見病院）

現在のところ、整備する予定はない。

●出席者からの質問

県病院から県病院前交差点までの市道は新中央診療棟の整備に伴い、併せて整備することだが、工事車両による交通量の増加などを想定して、他の整備計画より先に市道を整備することはできないか。

回答（岐阜県立多治見病院）

詳細なスケジュールは未定であるが、各施設整備に伴い大きな工事車両が道路を通るため、先に整備した場合、道路をすぐに傷めてしまう可能性がある。整備スケジュールについては、また地域の中で相談させていただく。

●出席者からの質問

県病院前交差点で、名古屋方面からの右折車と直進車、また対向車で道を塞いでしまい、救急車が通れないときがあるが対策はあるか。

回答（多治見市 道路河川課）

道路改良の中で、交差点付近の幅員を拡げて改良する予定である。

●出席者からの質問

各施設整備のスケジュールとしては、どこから着手するのか。

回答（岐阜県立多治見病院）

建設工事については、新保育所の整備から着手する予定である。

2. 池田稻荷（池田地内）付近、土砂災害の対応に係る堰堤^{えんてい}の進捗状況

●多治見市 道路河川課からの説明

土砂災害対策用の堰堤は2カ所を予定していて、1カ所は既に完成している。もう1カ所は平成31年度から着工する予定である。

●出席者からの質問

堰堤の整備を予定している場所には池田城跡がある。このため、歴史的遺産などが出る可能性もあるが、対策は考えているか。

回答（多治見市 道路河川課）

埋蔵文化財の関係については、多治見土木事務所に対応を確認する。

後日対応（多治見土木事務所 河川砂防課）

文化財保護センターへ調査を依頼し対応する。

3. 国道19号池田町交差点改良工事の進捗状況

(1) 多治見砂防国道事務所からの説明

国道19号の池田町交差点はもともと交通事故が多く、過去に交差点改良を行っているが、交差点の北西側隅切り部分については用地買収が出来ず、隅切り対策が未完了となっている。このため、代替りの対策（左折車の歩行者巻き込み事故対策、左折車と後続の直進車の追突事故対策）として、①歩道に緑色のカラー舗装 ②左折車へ左折ウィンカーを促す看板を行い対処しているところだが、事故件数が増加しており、新たな対策が必要となっている。

具体的な対策としては、まずは名古屋方面から来た左折車と後続の直進車の追突事故対策として既存看板の内容を変更する。もともとは歩道橋の横断幕に「左折ウィンカー早めの合図」、道路脇の看板に「うながっぱ」のイラストとともに「合図」と書いてあったが、横断幕が劣化のため撤去されており、看板だけでは意味がわかり辛くなっている。このため、12月中に看板の内容を「左折のウィンカー早めの合図」に変更する予定である。

次に、池田町交差点の北西側隅切り部分の用地買収を再度検する。どのように改良を進めるかを含め、平成29年度中に国道、県道、市道を一体的に調査検討する予定である。また用地買収については、地域住民からの要望があると交渉が進めやすいため協力をお願いしたい。

(2) 多治見土木事務所からの説明

県道武並土岐多治見線が関わる事故で目立つのが追突事故である。県病院側から来た車は、国道19号の状況を見ながら進むことがあり、国道19号合流直前の交差点付近で、わき見運転で前を走る車と追突するケースが多くある。また、交差点渋滞を避けて反対車線へ出る車があり、対向車と衝突するケースもある。

具体的な対策としては、まずは県道武並土岐多治見線から池田町交差点へ出る交差点（現在カラー舗装されている所）をL字交通にし、本線とするよう変更する。信号機のある池田町交差点から国道19号へ車が流れる流れをつくることで、若干の渋滞は予想されるが交通事故の防止が期待できる。

また、県道武並土岐多治見線で池田町交差点の南から国道19号への合流までの道路北側において、目隠し版を整備し、わき見運転を防止する。目隠し版の整備については、L字交通のための交差点改良を行った後、状況を見ながら進めていく予定である。交差点改良は早くても平成29年度末になるかと思われる。

●出席者からの質問

県道武並土岐多治見線の交差点改良について、L字交通になった後でも、県病院方面から来た車は右折して池田町交差点に行くのではなく、従来通り直進することは可能であるか。

回答（多治見土木事務所）

規制上の変更はないため、従来通り交通することは可能である。

●出席者からの質問

国道 19 号において、名古屋方面から来た車が池田町交差点に来たとき、信号を無視して右折し、対向車と追突する事故があったが対策はあるか。

回答（多治見砂防国道事務所）

交通量の多い交差点は、交通管理者（警察）が矢印信号による交通処理を行っており、最近では正面衝突防止のため、信号処理で右折車と直進車が同時に動かないように処理を進めていると聞いている。

●出席者からのご意見

費用的に難しいと思うが、池田町交差点を立体交差点にすれば交通事故が減るかと思う。

●出席者からの質問

県道武並土岐多治見線の L 字交通への整備により、池田町交差点へ流入する交通量が増加する。このため、今以上に小泉方面から名古屋方面へ右折するのに時間がかかると思うが、何か対策はあるか。

回答（多治見砂防国道事務所、多治見市 道路河川課）

池田町交差点北西側隅切り部分の用地買収ができれば、北側市道に右折レーンの整備などの対策検討を進められる。

●出席者からの質問

県道武並土岐多治見線の L 字交通への整備により、現状より交通渋滞が発生するとのことだが、地域住民の生活に大きな影響があると困る。

回答（多治見土木事務所）

国、県、市で、地域住民の意見を踏まえながら工事を進めていく。

●出席者からの質問

池田町交差点の南東部分（現在商業施設があるところ）を用地買収できれば、交差点をさらに改良できるかと思うので検討をお願いします。

回答（多治見土木事務所）

過去にも南東部分の用地買収を検討したことがあり、今後も地権者と交渉を進めていく。

●出席者からの質問

池田町は県道武並土岐多治見線から南側に商店がなく、多くの方が県道を挟んだ北側のコンビニを利用するが、横断歩道がないため危険である。以前警察に相談したときは、近くに横断歩道が既にあるため、新しく横断歩道を整備することは難しいとのことだった。

回答（多治見土木事務所）

地域から要望があったことは警察に伝えておく。

●出席者からの質問

池田町交差点北西側隅切りの改良が必要な理由は、国道 19 号において名古屋方面から来て左折する車の交通事故が多いということか。

回答（多治見砂防国道事務所）

左折車による左折ウィンカーの合図が遅く、後続直進車が左折車に追突するケースがある。北西側隅切り部分を用地買収できれば、直進車線に影響を与えない左折車の滞留スペースとしての隅切り対策または左折専用レーン等が作れるようになり、左折車と直進車の追突を防止できる。

●出席者からの質問

国道 19 号において名古屋方面から来て池田町交差点で右折するトラックなどの大型車は、県道武並土岐多治見線の L 字交通の整備により転回しやすくなるか。

回答（多治見土木事務所）

L 字交通の整備により、東側の路肩幅をできる限り確保して大型車でも転回しやすいようにする。